

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

2013 年度事業報告書

2013（平成 25）年 4 月 1 日～2014 年（平成 26）年 3 月 31 日

【公益事業】

2013 年度、公益財団法人として新しいスタートを切った本年度、当財団、ならびに、ちひろ美術館（東京・安曇野）は、定款に定める目的に沿って、いわさきちひろ、世界のコレクション画家それぞれでの研究、展示の質的な充実を図るとともに、絵本等の教育活動、支援活動ではより公益的な活動をめざし、以下の活動を行った。（詳細は、別紙、活動一覧に記載）

あわせて、2014 年のいわさきちひろ没後 40 年、2017 年の東京開館 40 周年・安曇野開館 20 周年、2018 年のいわさきちひろ生誕 100 年を視野にいれ、その準備に着手した。

1. 美術館の設置・運営

来館者総数	ちひろ美術館・東京で、	48,066 人(前年度比 95.7%/予算比 90.6%)
	安曇野ちひろ美術館で、	148,539 人(前年度比 90.3%/予算比 90.0%)
	両館では、	196,605 人(前年度比 91.5%/予算比 90.2%)

両館を通じて 2013 年度の来館者状況の特徴は、繁忙期（春休み、ゴールデンウィーク、夏休み）の集客が落ち込み、東京館では 7 年ぶりに 5 万人を、安曇野館では開館以来初めて 15 万人を下回る結果となった。

安曇野館では、例年通り、村民の入館料の無料優待を行った。

東京館では 12 月 15 日、安曇野館では 2014 年 3 月 16 日に、感謝デーを設け、入館料の無料優待を行い、それぞれに 1,580 人（東京館）、1,149 人（安曇野館）の来館者を迎えた。

2. 展覧会・講演会の開催

「ちひろになれる！7つの法則—技法徹底解剖—」では、ちひろの技法を 7 つの視点から詳しく、かつ、来館者が参加する形の展示も工夫し、楽しく紹介した。「ちひろと初山滋—永遠のコドモ—」では、ちひろが幼いころから心ひかれた初山滋との接点とそれぞれの個性を探った。

コレクション展では「画家たちのアトリエ」展を開催、作品とともに画家たちのアトリエの写真や愛用の品々を展示し、画家の魅力に迫った。

また、企画展では、東日本大震災後に思いを寄せて、世界 7 か国、110 人の絵本画家、作家が共同で企画した「手から手へ展—絵本作家から子どもたちへ 3.11 後のメッセージ—」を開催。会期中には、国内外の絵本画家によるフォーラムや講演会にも取り組んだ。

「絵本『ブルムカの日記』原画展—子どもを愛したコルチャック先生—」では、ポーランド大使館の協力を得て、画家のイヴォナ・フミエレフスカを招き、その作品を日本ではじめて展示するとともに、制作の背景や画家の思いを紹介。「色の音 紙の詩 クヴィエタ・パツォウスカー展」では、世界で活躍するクヴィエタ・パツォウスカーの新作など、日本では初公開となる魅力的な作品を紹介した。

「ずっと長さんとともに—長新太が描いた子どもの本—」では、特に児童文学と長新太との関わりに視点をあてて作品を紹介し、2016 年の長新太没後 10 年の展示に向けて研究を深めた。

3. 作品・資料の収集、保存、並びに、調査、研究

・作品収集 いわさきちひろ、初山滋、瀬川康男、ピーター・シスの作品寄贈を受けたほか、スズキコージの作品 1 点を購入し、計 9 点を新たに収蔵した（2014 年 3 月現在でコレクション総点数は 26,744 点）。

・作家研修 はじめての映像展示として、ちひろ研究成果のまとめとして 2012 年に完成させたドキュメンタリー映画「いわさきちひろ～27 歳の旅立ち～」(監督：海南友子) のための取材映像から、いわさきちひろ所縁の 11 人の証言をそれぞれにまとめ、両館の展示室内の視聴覚設備で、来館者自らが見たい番組を選択して楽しめるようにした。

4. 教育活動

両館とも、館内で親と子が楽しめるワークショップの開催、近隣の小中学校・図書館・公民館等と提携しての体験学習の受け入れ、出前授業・出前講座等、様々な絵本の教育活動・普及活動を行い、地域連携を一

層深めた。

東京館では親子で楽しむ文化講座1～3、子どもの幸せと平和を考える講座1～3を行った。また初となる武蔵野美術大学からのインターンシップ生を受け入れ、大学と美術館との今後の幅広い提携活動も視野に入れた活動を行った。

安曇野ちひろ美術館では、出前授業、スクールミュージアム等のほか、192名の中学生ボランティアたちが、4300名を超える来館者に対して、水彩技法のワークショップ、絵本の読み聞かせのほか、解説ツアー等の活動を行った。その中で、水彩技法ワークショップは寄付金付の活動として行い、材料費を除いた全額として、2011年3月12日の長野県北部地震被災地・長野県栄村に義捐金107,070円を寄付した。

5. 普及活動

- ・自治体や学校、図書館、平和団体と連携し、ちひろの平和の絵本や複製画、平和パネルを通して、ちひろの平和への思いを普及する活動を、積極的に推進した。
- ・長野県立こども病院、東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、埼玉医大総合周産期母子医療センターでピエゾグラフ作品による院内展示を、年間を通して行った。

6. 国際交流

はじめてのロシアでのいわさきちひろ展として、国立サンクトペテルブルグ歴史と文化児童図書館で、「いわさきちひろの絵本と複製画の展覧会」を開催し、ちひろの作品と平和への願いをロシア語圏に広げた。

また、ベトナムと日本の外交樹立40周年を迎えた本年、日越友好年を記念して、ハノイでピエゾグラフ作品による「いわさきちひろとベトナム」展を開催し、大きな反響を得た。

7. 支援活動

○東日本大震災のための支援の取り組み

- ・昨年にひきつづき、被災証明を提示した来館者は、全員無料とした。
- ・震災以降、館内で被災地支援の義援金の呼びかけに取り組んだ。

東京館 27,881円、安曇野館 117,215円、合計 145,096円（2013年4月1日～2014年3月31日）

- ・被災地へいわさきちひろの複製画を無料で貸し出し、希望に応じて講演会を持つなど、支援活動を行った。

○安曇野ちひろ美術館では、例年に引きつづき、地元松川村の保健センターと協力し、同年度に誕生した新生児62名に、絵本とのふれあい事業として、絵本をプレゼントし、お母さんたちを対象とした、絵本の読み聞かせ指導やレファレンス活動を行った。

○2010年、2011年につづき、図書館、書店のない奄美大島の文庫をはじめ、松川村図書館等に、児童書を寄贈した。

8. その他

- ・支援会員制度の取り組み

有効会員数293人（新規80名、継続213名）、寄付会費総額1,610,000円。2014年1月19日、活動報告会「支援会員の日」を開催。2012年度の活動報告と、財団・美術館への要望・意見を聴く交流を行った。

- ・改修工事

老朽化が進んだ安曇野館の照明設備を更新、一部LEDを導入して来館者の利便性向上とともに節電・経費削減を目指すための工事を行った。

【収益事業】

来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行った。

【理事会・評議員会】

○2013年5月15日

2013年度第1回理事会

みなし会議

決議事項

- ・部長手当変更に関する件
- ・阿部恵両館普及部長の運営委員選任に関する件

決議等

理事総数7名中、決議に必要な理事の数7名
決議理事 7名

○2013年6月6日

2013年度第2回理事会

開催場所

小田急ホテルセンチュリーサザンタワー

決議事項

- ・2012年（平成24年）度 事業報告書（案）、及び、収支決算報告書（案）、並びに、監査報告に関する件
- ・諸規定の整備に関する件
- ・定時評議員会の招集に関する件

出席等

理事総数7名中、決議に必要な理事の数4名
出席理事7名、欠席理事0名。出席監事2名。

○2014年2月11日

2013年度第3回理事会

開催場所

ANAホテルインターコンチネンタルホテル東京

決議事項

- ・2014年（平成26年）度 事業計画書（案）、及び、収支予算書（案）に関する件

出席等

理事総数7名中、決議に必要な理事の数4名
出席理事7名、欠席理事0名。出席監事2名。

○2013年6月28日

2013年度第1回評議員会

開催場所

小田急ホテルセンチュリーサザンタワー

決議事項

- ・2012年（平成24年）度 事業報告書（案）、及び、収支決算報告書（案）、並びに、監査報告に関する件

報告事項

2013年度第2回理事会の決議事項、2013年度の事業の進捗状況、並びに、職務執行の状況

評議員総数5名中、決議に必要な理事の数3名

出席評議員4名、欠席評議員1名。

その他 出席理事4名、出席監事2名。

【職員の状況】

2013年度末現在の常勤の職員は、両館兼務者を含め、東京館8名、安曇野館13名の計21名である。

（非常勤の職員兼任役員を除く）

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 2013(平成25)年度事業報告書 入館者一覧

1.絵本美術館の設置運営

2013年度の入館者数は、ちひろ美術館・東京 48,066人、安曇野ちひろ美術館148,539人、両館合計で196,605人となった

■ちひろ美術館・東京

2013年4月～2014年3月 入館者数内訳(月別)

月	開館日数	有料入館者数		無料入館者数						全入館者数	1日平均入館者数
		大人	小計	中高生	小学生	幼児	支援会員	招待者その他無料	小計		
4	26	2,800	2,800	57	153	252	12	326	800	3,600	138
5	26	4,457	4,457	69	154	288	15	409	935	5,392	207
6	27	2,637	2,637	136	146	243	21	338	884	3,521	130
7	26	3,347	3,347	352	258	329	10	480	1,429	4,776	184
8	28	4,296	4,296	1,030	498	435	15	529	2,507	6,803	243
9	25	2,466	2,466	180	157	253	11	208	809	3,275	131
10	26	3,260	3,260	22	161	294	5	398	880	4,140	159
11	26	2,861	2,861	71	132	222	15	294	734	3,595	138
12	23	1,787	1,787	53	277	332	7	1,585	2,254	4,041	176
1	26	3,857	3,857	68	213	371	25	490	1,167	5,024	193
3	27	2,964	2,964	97	145	395	12	286	935	3,899	144
合計	286	34,732	34,732	2,135	2,294	3,414	148	5,343	13,334	48,066	168
構成比		72.3%	72.3%	4.4%	4.8%	7.1%	0.3%	11.1%	27.7%	100.0%	
昨年合計		37,189	37,189	1,940	2,123	3,497	355	5,139	13,054	50,243	175
前年度比		93.4%	93.4%	110.1%	108.1%	97.6%	41.7%	104.0%	102.1%	95.7%	96.0%

* 2013年4月～2014年3月の入館者総数は48,066名(1日の平均入館者数168名)。2012年度に比べ2,177名の減少(昨年度比95.7%)。

* 入館者の内訳は有料入館者数34,732名(全体の72.3%)、無料入館者数13,334名(全体の27.7%)。

* 入館者全体における割合は、大人(支援会員、その他無料含む):中高生:小学生:幼児が、83.7%:4.4%:4.8%:7.1%。

* 例年通り、敬老の日(9月16日)は65歳以上の方の入館料を無料とした。

* 12月15日に無料感謝デーを実施し、全入館者1,580名の入館料を無料とした(昨年は1,297名)。

* 年間パスポートは、2012年度より500円値上げして2500円で販売。購入数は261枚・652,500円(昨年は242枚・605,000円・108%)、リピーターを含むのべ利用者数は1,116名(昨年は795名・140%)だった。

* 「ぐるっとパス」による入館者数は2,183名(昨年2,251名・97%)で、微減。利用率自体は、「有料入館者」の6%(昨年も6%)、入館者全体の4.5%(昨年は4.8%)となった。

* 2008年に毎日新聞社と連携して取り組み始めた新聞社招待券。年々、朝日新聞社、読売新聞社へも取り組みを広げ、2011年には招待数が11,118名と年間入館者数の約2割を占めるまでとなったが、それをピークに、2012年は3,500名減の7,614名、2013年度はさらに1,015名減の6,599名となった。

■安曇野ちひろ美術館

2013年4月～2014年3月 入館者数内訳(月別)

月	開館日数	有料入館者数		無料入館者数						全入館者数	1日平均入館者数	
		大人	小計	中高生	小学生	幼児	支援会員	その他無料	松川村招待者			小計
4	28	9,013	9,013	137	294	374	4	517	204	1,530	10,543	377
5	28	14,638	14,638	306	673	576	3	1,481	286	3,325	17,963	642
6	28	9,906	9,906	161	167	324	4	672	209	1,537	11,443	409
7	28	14,667	14,667	298	690	698	2	1,661	147	3,496	18,163	649
8	31	28,999	28,999	1,998	3,043	1,884	2	1,526	367	8,820	37,819	1,220
9	26	14,175	14,175	109	357	703	3	893	155	2,220	16,395	631
10	29	15,602	15,602	63	214	450	3	1,055	195	1,980	17,582	606
11	28	10,546	10,546	80	312	389	4	820	162	1,767	12,313	440
3	29	4,027	4,027	178	334	416	5	1,191	167	2,291	6,318	218
合計	255	121,573	121,573	3,330	6,084	5,814	30	9,816	1,892	26,966	148,539	583
構成比		81.8%	81.8%	2.2%	4.1%	3.9%	0.0%	6.6%	1.3%	18.2%	100.0%	
昨年合計		133,086	133,086	3,941	6,806	6,136	133	12,610	1,868	31,494	164,580	645
前年度比		91.3%	91.3%	84.5%	89.4%	94.8%	22.6%	77.8%	101.3%	85.6%	90.3%	90.3%

* 2013年4月～2014年3月の入館者総数は、148,539人(1日平均入館者数は583人)。2012年度に比べ、16,041人の減少。(昨年度比90.3%) 安曇野館の入館者が15万人を下回るの、開館以来初めてのことである。

4月～9月の入館者合計は112,326人で昨年度比89.5%、10月～3月の入館者合計は36,213人で昨年度比92.6%となり、上半期の落ち込みが目立った。

* 入館者の内訳は、有料入館者数121,573人(全体の81.8%／昨年は80.9%で昨年度比91.3%)、無料入館者数26,966人(18.2%／昨年度は19.1%で昨年度比85.6%)となり、無料入館者の減少が目立つ結果となった。

* 入館者全体における割合は、大人(支援会員、その他無料、松川村含む):中高生:小学生:幼児が、89.8%:2.2%:4.1%:3.9%。

* 例年通り、敬老の日(9月16日)は65歳以上の方の入館料を無料とした。

* 2014年3月16日に感謝デーを実施し、全入館者1,149人入館料を無料とした。(昨年は1,023人)

* 旅行会社等のクーポン利用者数は11,146人。有料入館者全体に対してのクーポン利用率は9.2%。(昨年は10.4%)

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 2013(平成25)年度事業報告書 活動一覧

事業	事業内容	参加者数 (入館者数)	備考(実施日、回数、その他実績)	実施場所
----	------	----------------	------------------	------

2. 絵本等に関する展覧会講演会の開催

■ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等

【いわさきちひろ展】	ちひろの庭	11,169名	3月1日～5月19日	ちひろ美術館・東京
	—平和で、豊かで、美しく、可愛いものがほんとうに好きで— いわさきちひろ展	11,140名	5月22日～8月4日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ・絵本づくりの現場	12,434名	8月7日～10月27日	ちひろ美術館・東京
	ちひろと初山滋 —永遠のコドモ—	12,822名	10月30日～2014年1月31日	ちひろ美術館・東京
【世界の絵本画家コレクション展】	日中国交正常化40周年記念 中国の絵本画家展	11,169名	3月1日～5月19日	ちひろ美術館・東京
	ずっと長さんとともに —長新太が描いた子どもの本—	12,434名	8月7日～10月27日	ちひろ美術館・東京
	初山滋の木版画	12,822名	10月30日～2014年1月31日	ちひろ美術館・東京
【企画展】	手から手へ展 —絵本作家から子どもたちへ3.11後のメッセージ—	11,140名	5月22日～8月4日	ちひろ美術館・東京
【講演会】	降矢奈々講演会「”手から手へ”展のはじまりとこれまで。そして、これから。」	62名	5月25日	ちひろ美術館・東京
	手から手へフォーラム	77名	6月8日	ちひろ美術館・東京
	松本猛×松本春野 親子対談 「絵本『戦火のなかの子どもたち』から『ふくしまからきたこ』へ」	47名	7月13日	ちひろ美術館・東京
	木坂涼×アーサー・ビナード 詩の朗読会	49名	7月17日	ちひろ美術館・東京
	対談 谷川俊太郎×松本猛「長新太の子どもの本」	75名	9月14日	ちひろ美術館・東京
	スライドトーク「初山滋といわさきちひろ ～感性がつなぐふたりの画家～」	28名	11月9日	ちひろ美術館・東京
	「初山滋の貴重本を見る会」	23名	11月23日	ちひろ美術館・東京
【ギャラリートーク】	松本猛によるギャラリートーク	延べ約120名	3月10日、6月2日、10月6日、2014年1月19日	ちひろ美術館・東京
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	延べ約220名	毎月第1、3土曜日	ちひろ美術館・東京

■安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等

【いわさきちひろ展】	ちひろの軌跡	25,326名	3月1日～5月7日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの子ども歳時記	24,912名	5月10日～7月9日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろになれる！7つの法則 —技法徹底解剖—	62,467名	7月12日～9月17日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろのアトリエ —東京・黒姫—	36,044名	9月20日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの人生	148,749名	3月1日～11月30日(4会期合計)	安曇野ちひろ美術館
【世界の絵本画家コレクション展】	ちひろ美術館コレクション 読みつがれる絵本語りつがれる物語	25,326名	3月1日～5月7日	安曇野ちひろ美術館

事業	事業内容	参加者数 (入館者数)	備考(実施日、回数、その他実績)	実施場所
	ちひろ美術館コレクション 絵本の作り方	24,912名	5月10日～7月9日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 貼る・塗る・摺る — 絵本画家たちの技法と画材—	62,467名	7月12日～9月17日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション 画家たちのアトリエ	36,044名	9月20日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	絵本の歴史(「死者の書」から20世紀の絵本まで)	148,749名	3月1日～11月30日(4会期合計)	安曇野ちひろ美術館
【企画展】	手から手へ展 — 絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージ—	25,326名	3月1日～5月7日	安曇野ちひろ美術館
	絵本『ブルムカの日記』原画展 — 子どもを愛したコルチャック先生—	24,912名	5月10日～7月9日	安曇野ちひろ美術館
	色の音 紙の詩 クヴィエタ・パツオウスカー展	62,467名	7月12日～9月17日	安曇野ちひろ美術館
【ギャラリートーク】	『ブルムカの日記』作家イヴォナ・フミエフスカによるギャラリートークとワークショップ	44名	5月18日、19日	安曇野ちひろ美術館
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク		毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館

■ 他館と提携する展覧会・講演会、ギャラリートーク

【いわさきちひろ展】	いわさきちひろ展	59,458名	4月27日～6月2日	北海道立近代美術館
	いわさきちひろ展	19,486名	7月25日～8月25日	岩手県立美術館
【講演会】	いわさきちひろ展関連講演会	240名	4月27日	北海道立近代美術館
	いわさきちひろ展関連講演会		7月27日	岩手県立美術館
【ピエゾグラフ展】	ピエゾグラフによるいわさきちひろ展	4,816名	7月27日～9月1日	丸亀市立資料館
	香月泰男美術館開館20周年記念 香月泰男といわさきちひろ「ふるさとと小さな仲間たち展」	2,700名	7月26日～9月1日	香月泰男美術館

3. 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究

【作品・資料の収集】	絵本原画、関連資料等の収集		新規収蔵作品 いわさきちひろ 1点(寄贈) 世界の絵本画家9点(購入1点寄贈8点) 計10点	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集		絵本の歴史資料 新規入庫1点	両館
	絵本、関連書籍等の収集		新規入庫書籍 計989冊	両館
【作品・資料の保存】	作品・資料の保存管理		通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブス		アーカイブ作品 計21点	両館
	作品・資料の修復		通年	両館
【作品・資料の調査・研究】	コレクション作家等の調査・研究		随時	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究		随時	両館
	絵本等に関する調査・研究		随時	両館

事業	事業内容	参加者数 (入館者数)	備考(実施日、回数、その他実績)	実施場所
	研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈		通年	両館
	研究成果の公開 HPでの作品、展示解説掲載		随時	両館
	研究成果の公開「ドキュメンタリー映画 いわさきちひろ ～27歳の旅立ち～」自主上映	述べ動員数 8,033名	通年	全国の会場33カ所
	研究成果、活動成果の公開「美術館だより」の発行(年4回)		各館ごとに年間4回 計8回の発行	両館

4. 絵本等に関する教育活動

【ワークショップ・講座の開催】	ガーデントーク ちひろの庭の花めぐり	60名	3月30日、4月13日、4月27日、5月11日	ちひろ美術館・東京
	「ちひろの庭」フォト・ワークショップ	5名	4月14日	ちひろ美術館・東京
	ちひろの水彩技法ワークショップ	368名	4月7日、7月21日、8月17日、8月18日、2014年1月2日、1月3日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座1. わらべうたあそび	117名	4月20日、6月29日、9月7日、11月30日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座2. おもちゃのひろば	42名	6月23日、10月20日	ちひろ美術館・東京
	中国語で楽しむおはなしの会	40名	3月31日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ美術館・東京 たてももの探検ツアー	40名	5月18日、9月10日	ちひろ美術館・東京
	ワークショップ「手と手でかこう」	16名	6月22日	ちひろ美術館・東京
	「みんなの手の木」	890名	5月22日～8月4日	ちひろ美術館・東京
	ててん茶話会	参加作家24名 参加者延べ 約120名	5月26日、6月9日、6月16日、6月23日、6月30日、7月7日、7月14日、7月15日、7月27日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座3. 針金造形ワークショップ	15名	7月28日	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座1. 大塚敦子講演会「ともに生きるということ」	45名	8月10日	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座2. Yaeトーク&ミニライブ	43名	12月21日	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座3. アーサー・ビナード講演会	80名	2014年1月12日	ちひろ美術館・東京
	中学生ボランティアと楽しむ夏休み体験コーナー(ワークショップ)、作品解説ツアー、絵本の読み聞かせ	ワークショップ・ツアー・読み聞かせ参加者延べ4,241名	7月27日～8月17日	安曇野ちひろ美術館
「手から手へ展」出品作家によるワークショップ I「きてきての木」	25名	3月31日	安曇野ちひろ美術館	

事業	事業内容	参加者数 (入館者数)	備考(実施日、回数、その他実績)	実施場所
	「手から手へ展」出品作家によるワークショップⅡ「HANDMADE(手で作る)」	34名	4月14日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの水彩技法ワークショップ	91名	6月10日、11月17日、11月30日	安曇野ちひろ美術館
	「ちひろの子ども歳時記」展関連イベントわらべうたあそび	50名	6月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの愛した音楽とパントマイムのタペ	60名	11月2日	安曇野ちひろ美術館
	絵本画家・武田美穂のワークショップ「ひみつきちをつくろう！」	34名	10月12日	安曇野ちひろ美術館
	絵本画家・武田美穂による絵本講座	40名	10月13日	安曇野ちひろ美術館
【学校との提携活動】	地元中学校との提携活動ー中学生ボランティア	中学生192名	6月12日～8月17日	安曇野ちひろ美術館
	出前授業	5校と6施設	6月20～21日、8月23日、9月6日、9月18日、10月19日、11月16日、11月19～20日、2月17日、3月4日、3月5日、3月13日	練馬区立石神井小学校、練馬区立石神井図書館、駒込高校、杉並区立三谷小学校、練馬区立中村敬老館、他
		3校と1施設	6月15日、10月9日、11月8日、11月10日	松川小学校、日義中学校、福島中学校、国営アルプスあづみの公園
	スクールミュージアム	2校	①10月4～5日 ②10月8日	①木曾町立福島中学校 ②木曾町立日義中学校
	職場体験実習の受入れ(東京館:岐阜県多治見市立北陵中学校4名、練馬区立石神井南中学校2名他、安曇野館:池田町立高瀬中学校2名、大町市立 仁科台中学校2名、松川村立松川中学校3名)	6校、14名	5月30日、6月27～28日、7月2～3日、9月11～13日、9月26～27日、1月15～17日	ちひろ美術館・東京
		3校、7名	7月17～18日、9月4～5日、9月12日	安曇野ちひろ美術館
	学芸員実習生(東京館:学習院大学、弘前学院大学、東京学芸大学/安曇野館:静岡大学、武蔵野音楽大学、京都精華大学)、インターシップ生(東京館7月14日～8月18日の最大5日間3名/安曇野館3週間1名)の受入れ	6名	8月2～7日(学芸員実習)、7月14～8月18日の最大5日間(インターシップ)	ちひろ美術館・東京
		4名	9月16～23日(学芸員実習)、7月13～8月18日(インターシップ)	安曇野ちひろ美術館
	教員向け特別内見会、内見週間の実施	3回 延べ41名	6月17日、8月15～21日、11月5日	ちひろ美術館・東京
		2回 延べ10名	8月5～11日、11月16～24日	安曇野ちひろ美術館

事業	事業内容	参加者数 (入館者数)	備考(実施日、回数、その他実績)	実施場所
----	------	----------------	------------------	------

5. 絵本等に関する普及活動

【絵本等の公開・閲覧】	絵本図書室・絵本カフェでの絵本の公開・閲覧		通年 HPと各館計8回のテーマブックで絵本を紹介。 東京館 開架2,300冊、閉架1,700冊 安曇野館 開架3,420冊、閉架24,240冊。 両館蔵書総数31,660冊。	両館
【絵本等の紹介活動】	コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読書指導		通年	両館
【読み聞かせ会】	えほんのじかん(絵本の読み聞かせ)	22回 延べ 360名	毎月第2、4土曜日	ちひろ美術館・東京
	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)	20回 延べ 383名	毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館
【地域・団体との提携による複製画展】	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展の開催		9月25日～10月29日	北海道上川郡比布町図書館
	各地の自治体、地域、団体との提携による、平和の絵本(『戦火のなかの子どもたち』『わたしがちいさかったときに』)と平和パネル17枚のパネル展の開催		①6月14日～7月14日②7月31日～8月6日③8月8日～8月21日	①沖縄県泡瀬特別支援学校②大阪府四条畷市役所③大阪府和泉市立人権文化センター
【病院との提携活動】	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの開催	計4病院	通年	東京女子医大病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学周産期医療センター

6. 絵本等に関する国際交流

【海外における 展覧会・講演会、ワークショップ】	ロシア・サンクトペテルブルグ国立児童図書館におけるいわさきちひろ複製画展	3,018名	4月2日～5月18日	ペテルブルグ歴史と文化児童図書館(ロシア)
	ベトナムにおける いわさきちひろ展	2,450名	9月28日～10月27日	国際交流基金ベトナム日本文化交流センターハノイ(ベトナム)
【海外からの 研修受入と交流】	韓国の絵本美術館準備委員の研修受入	1名	7月10日～7月22日	安曇野ちひろ美術館
	絵本画家・絵本研究者(韓国)の研修受入	韓国研修団 15名	韓国研修団:10月30日～11月1日	安曇野ちひろ美術館
【海外の関係 機関とのネットワーク】	絵本美術館ネットワーク(米・英・豪・日)の設立のための協議		随時	両館
	絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会)等との提携活動		随時	両館
	中国大使館との「中国の絵本画家展」を通じた交流		3月1日	安曇野ちひろ美術館
	タイ・バンコク国際ブックフェア視察		4月6日～9日/9月29日～31日	バンコク(タイ)
	中国の絵本画家との交流と、絵本学科のある美術大学視察		6月21日～26日	北京・南京・長沙(中国)

事業	事業内容	参加者数 (入館者数)	備考(実施日、回数、その他実績)	実施場所
	ドイツ・フランクフルトブックフェア視察		10月9日～13日	フランクフルト(ドイツ)
	アジア子どものコンテンツフェスティバル (AFCC)創設者との交流		2014年1月11日	ちひろ美術館・東京

7. 絵本等に関する支援活動

【絵本の専門家への支援活動】	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援		随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援		随時	両館
【展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動】	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布		随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ指導等		随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等		随時	両館
【地域の子育て支援団体との提携活動】	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等	延べ62名	年6回	安曇野館